

「学校教育の充実」

平成21年度は、町政の基本となる「第5次振興計画」の4年目となります。みんなで創るやすらぎと豊かさに満ちたまち芳賀」の実現をめざし、今年度は「学校教育の充実」「健康づくりの推進」「計画的なまちづくりの推進」「人材の育成」の4つを重点施策として、積極的に事業を実施しています。

今月は4つの施策のうち「学校教育の充実」の取組状況を紹介いたします。



《主な事務事業》

- 芳賀中学校舎耐震補強大規模改造事業・特別教室改築事業
- 学習指導助手配置事業
- 「早寝・早起き・朝ごはん」実践事業
- 司書教諭助手配置事業
- 小中学校食育推進事業
- 特別支援教育推進事業

明日を担う子ども育成のため 知・徳・体のバランスの取れた 教育をめざして

☎こども育成課学校教育係 【☎028 (677) 6024】



「早寝・早起き・朝ごはん」実践事業

児童・生徒の学校や家庭での規則正しい生活リズムと体力の向上のため「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の実践・推進を行います。

各学校においては、給食だけでなくなどをもとに、児童・生徒への指導を行い、各家庭での自立的な行動を促すよう努めます。

また、保護者に対しては「早寝・早起き・朝ごはん」運動啓発強化期間を設定し、生涯学習や子育てキャンペーン



▲早寝・早起き・朝ごはん全国協議会シンボルマーク

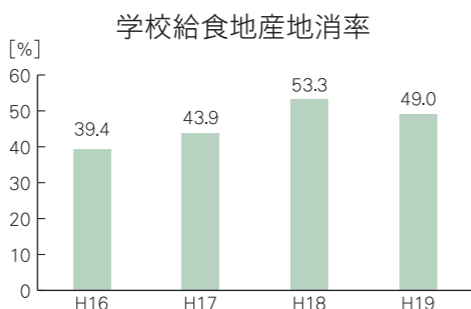
ンなどを行います。毎日朝食を食べる児童・生徒の割合は、全国平均より5.4ポイント上回り、89・6％となっています。

小中学校食育推進事業

学校給食では、地元でとれた食材を使った給食作りを進めています。

地産地消率は、平成22年度の目標値50・0％をおおむね達成しています。平成21年度からは、新たに地産率を上げるための取り組みを行います。

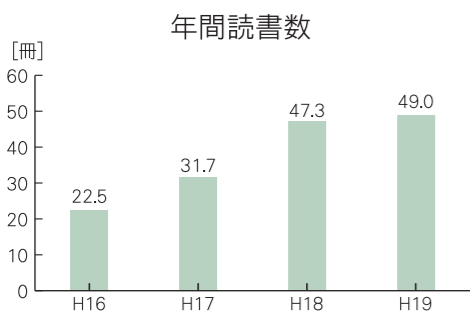
※学校の給食調理業務は、個別調理を維持します。



司書教諭助手配置事業

司書教諭助手は、平成18年度から小中学校に1人を配置し、児童・生徒が読書に親しみ、読書に対する興味・関心を引き出すよう活動しています。1人当たりの年間読書数は、年々増加しています。平成19年度は、1人当たり年間約50冊となりました。

司書教諭助手の配置により、子どもの読書活動が総合的・体系的なものとなり、読書の質の向上も図られています。



特別支援教育推進事業

知的障害や情緒障害などの発達障害のある児童・生徒が、適切な指導や支援が受けられるよう、こども支援委員会を設置しています。

また、町巡回相談員（臨床心理士・教員・教育相談員など）による該当児童・生徒および保護者に対する継続的な相談・指導や、教員へ指導方法などの助言を行います。

平成21年度は、臨床心理士の相談日を月2回に増やしています。

学習指導助手配置事業

平成21年度も、学習指導助手を各小学校に2人、中学校に3人配置し、授業の補助を行います。

小学校では、算数の授業や総合的な学習の時間、中学校では、少人数による授業で、きめ細やかな指導や分かる授業を行い、児童・生徒の学力向上を支援します。

全国学力テストの結果は、平成19年度に対し、平成20年度は3ポイント上回っています。



芳賀中学校舎耐震補強大規模改造事業・特別教室改築事業

生徒や教職員が、耐震化された安全な校舎で学習できるよう、平成20年度から継続して行われているA棟工事を夏休み前に完了するように進めます。B・C棟についても、内部改修を夏休み中に完了し、8月末には引越しを行う予定です。

また、技術・家庭科・音楽棟の改築工事についても、前倒しして工事着手し、平成22年度の完成を目指します。



外部評価委員からの意見

「学力テストの成績が向上していることや読書冊数が増加していることは、学力向上の現れであり、評価できる。今後とも、学習指導助手や司書教諭助手の配置を継続し、学校教育の充実・発展を期していただきたい」

外部評価とは：教育委員会の事務の執行状況などの透明性の確保と、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、委員により行われる点検・評価。結果は、議会に提出するとともに、公表しています。